

「反具象的な作品を描いていけたら」と今後の創作意欲を示す湯佐さん

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔①



湯佐 侑子さん(78)

＝釧路町北見団地

水彩画

1994年に釧路市生涯学習センター主催の水彩画講座を受講。水彩画家の小川彰一氏から指導を受け、水彩画の美しさや描画手法を学ぶ。講座修了後も受講者仲間が結成したサークルで創作活動を続けた。

1994年に釧路市生涯学習センター主催の水彩画講座を受講。水彩画家の小川彰一氏から指導を受け、水彩画の美しさや描画手法を学ぶ。講座修了後も受講者仲間が結成したサークルで創作活動を続けた。

彫刻家の中江紀洋氏(1978年度釧新郷土芸術賞受賞者)からも教えを受け、作品に感情を込めることや新たな試みに果敢に挑戦することを説かれ、これまでと違った発想や画風につながったのは94年から。作品は静

1942年北見市生まれ。道職員だった父親の転勤に伴い道内各地で暮らす。中標津高校在学中に花火を描いた作品が町の夏祭り poster に採用された。公益財団法人釧新教育芸術振興基金は、2021年度の釧新郷土芸術賞を3個人に贈る。受賞者の横顔を3回にわたって紹介する。

反具象的な作品描く